

●期待される回答例

- 1 例えば、公定歩合を下げる。
- 2 世の中の金利が下がり借金しやすくなるなど。
- 3 日本銀行は市場金利の引き下げを図り、更にゼロ金利政策、量的緩和政策を行った。
- 4 預金準備率操作や、公定歩合操作から、コール市場の金利を誘導するオープンマーケットオペレーションへと変化させた。
- 5 銀行間の短期の資金の貸し借りをを行う金融市場のこと。
- 6 500万円（400万円＋100万円）
- 7 他の銀行からお金を調達しようとする（需要が増える）。金利が上がる。
- 8 貸手（供給側）の銀行の手持ち資金が増えて余裕ができた時、もしくは借手（需要側）の銀行の必要度が下がれば、金利は下がる。
- 9 増えた。
- 10 下がる。
- 11 下がる。
- 12 企業は金利が下がったことから設備資金などを借りようとする可能性をもつ。
- 13 景気は上昇する可能性が大きくなる。
- 14 オープンマーケットオペレーション
- 15 金利が下がったら、金融機関に預金をしている家計は損失を受ける。住宅ローンなど借金をしている家計は利益を得る。要は、金利が下がったことによる景気上昇で所得がどれだけ増加するかによって、家計への影響は変化する。金利が上がったときは逆の現象がおきる。

●参考「日本銀行」の金融調節 (<http://www.boj.or.jp/mopo/outline/index.htm> より)

